

平成22年度

学校評価結果報告書
(中間評価)

庄原特別支援学校

目次

様式3 「平成22年度自己評価シート（中間評価）」	1
様式4 「平成22年度自己評価シート（中間評価まとめ）」	3
様式7 「平成22年度学校関係者評価シート（中間評価）」	4

平成22年度自己評価シート（中間評価）

校番	113	学校名	広島県立庄原特別支援学校	校長氏名	刺田 信行	全・定・通	本・分
----	-----	-----	--------------	------	-------	-------	-----

学校経営目標					
達成目標	本年度行動計画	評価	理由	担当部等	
1 特別支援教育に関する専門性を確立し、授業の改善・充実により児童生徒の生きる力を育む。					
(1) 教職員の専門性の向上を図る。	研修会の回数	B	校内授業研究が計画より遅れている。	教育企画部	
(2) 専門性に基づく教育課程の編成。	評価の実施	A	単元計画・指導略案・授業を経て、学部・学年・クラス等で授業の振り替えを行い、次の授業に生かすようにしている。	教務部	
(3) 児童生徒の健康の保持に努め、健康教育や食育を充実させる。	食育の授業	A	食育に係る年間計画を作成した。食育の授業については、各学部・学年で様々なテーマで行っている。現段階では、全校で10回実施され、今後6回計画されている。	保健部	
(4) 生徒指導に係る方針を策定し、生徒指導の充実を図る。	生徒指導方針の確立	A	1学期には、「アルバイトに関する規定」を作成し、2学期では、運転免許取得に関する規定を検討中である。	生徒指導部	
(5) 進路指導充実のため、関係機関との連携を強化する。	就業体験先の開拓	A	高等部1年生から3年生までの一般就労希望者の体験先の確保ができた。	地域支援部	

【評価結果の分析】

- (1) 授業者の年間計画を提示したが、計画に沿って決定するまでに時間を要した。
- (3) 食育に係る年間計画が、昨年度、年間指導計画を立てる段階では無かったため、各学部・学年が独自に計画した食育の授業を行っていた。そのため各学部・学年では計画的に実施されてはいるが、全校でバランスをとった計画、及び実施とはなっていない。実施回数のみが評価の指標となり、実施したかどうかだけの評価となっている。
- (4) 生徒指導に係る指導方針では、昨年度は携帯電話に関する規定を作成し、本年度は、アルバイトに関する規定、運転免許に関する規定を作成する予定である。すでに、アルバイトに関する規定は1学期に作成し、現在、運転免許に関する規定を生徒指導部から高等部会へ提起し、順調に検討が進んでいる。
- (5) 今年度は高等部1年生の入学者が増え、一般就労希望者も増えた。1学期の早い時期にハローワークの担当者との連携を重ね、5月に作業学習の参観と面接を行った。7月には、就業体験・職場実習先についてハローワーク担当者とは担任・地域支援部との検討会を持った。また、具体的な体験希望先を提示して依頼するなど、新しい体験先の確保に努めた。J S Tの紹介で他地区の入所しての就労継続A型の事業所を確保することができた。

【今後の改善方策】

- (1) 計画の遅れを取り戻せるように各学部学年の教育企画部員で修正するよう働きかける。
- (2) 来年度の年間指導計画を作成する前に、食育に係る年間計画を全職員に提示し、全校でバランスのとれた食育の授業を計画・実施する。回数のみにとらわれた評価でなく、食育に関する授業をした結果、児童生徒がどのように変わっていったかが評価の指標になるよう考えていく。
- (4) 運転免許に関する規定を2学期終了までには全体提案ができるところまで整理し、3学期には、全体確認し、次年度より実施できるようにしたい。
- (5) 今後も企業、福祉事業所とも丁寧に連携を行っていく必要がある。

2 相談や支援の態勢を整え、地域のセンター的機能を充実させる。					
(1) 教育相談や特別支援教育に関する情報の充実を図る。	教育相談回数	A	125回(延べ回数)	地域支援部	
(2) 小中高等学校を始めとする関係諸機関との連携を強化する。	小中高等学校への支援回数	A	111回(延べ回数)		

様式3

【評価結果の分析】

(1) (2) 本校独自の取組として、学校訪問相談を実施した。その結果、就学区域内における本校のセンター的機能に関する理解が進むと同時に、特別支援教育に関する情報の普及、ニーズの顕在化につながった。

【今後の改善方策】

(1) (2) 相談や支援を実施した後の状況を把握し、有用性の視点から更なる取組の充実を図る必要がある。

3 信頼される学校を目指し、組織マネジメントを確立する。				
(1) ホームページを始めとして、学校情報の発信を定期的に行	発信回数	A	目標回数より多く更新した。	教育企画部
(2) 保護者及び通学区域内小中学校へのアンケートを実施し、学校に対するニ	アンケート回収率	B	11月中旬のアンケート実施に向けて、質問項目等検討準備中である。	総務部
(3) 災害等に対する避難の検討整備を図る。(安全)	年間6回以上の訓練を行う。	A	年間6回計画し、現段階で予定通りの5回実施終了している。各訓練等の実施後、アンケート・反省会を行い、反省事項等を基に、即、実施計画等の見直し・検討を行っている。	保健部
(4) 学校環境整備を進め、安心して学べる学校をつくる。	毎月1回の安全点検により、修理必要箇所の改善を図る。	A	危険箇所の早期発見に努めるとともに、特に危険と思われる箇所については、概ね迅速に改修等を行った。	事務部

【評価結果の分析】

(1) 29回更新している。また、校外からの間違いの指摘に対して早急に修正した。
 (2) 今年度は新たに通学区域内小中学校へのアンケートを実施を計画している。本校へのニーズを把握するための初めての試みである。質問項目について十分検討を要する。
 (3) 各訓練等実施後、アンケート・反省会を行い、挙げた反省事項等を来年度に確実に活かし、より意義のある訓練等になるように、即、実施計画等の内容を見直してきた。6回分計画をし、予定通り実施しているが、回数のみが評価の指標となり、実施したかどうかだけの評価となっている。

【今後の改善方策】

(1) 古いデータの有無を定期的にチェックし、外部からの指摘を受けないようにする。
 (2) 学校評価アンケート（保護者、通学区域内小中学校）は11月中に実施、回収し、2学期中に結果報告する。全教職員が結果を共通認識し、ニーズを反映した学校教育の充実に努める。
 (3) より意義のある実践的な訓練等を計画、実施するとともに、安全に対する児童生徒の意識がどのように変わっていったのが評価の指標になるように考えていく。

校番	113	学校名	広島県立庄原特別支援学校	校長氏名	刺田 信行	全・定・通	本・分
----	-----	-----	--------------	------	-------	-------	-----

1 評価結果の分析

- (1) 特別支援教育に関する専門性を確立し、授業の改善・充実により児童生徒の生きる力を育む。
- ア 授業者の年間計画を提示したが、計画に沿って決定するまでに時間を要した。
- イ 食育に係る年間計画が、昨年度、年間指導計画を立てる段階では無かったため、各学部・学年が独自に計画した食育の授業を行っていた。そのため各学部・学年では計画的に実施されているが、全校でバランスをとった計画、及び実施とはなっていない。実施回数のみが評価の指標となり、実施したかどうかだけの評価となっている。
- ウ 生徒指導に係る指導方針では、昨年度は携帯電話に関する規定を作成し、本年度は、アルバイトに関する規定、運転免許に関する規定を作成する予定である。すでに、アルバイトに関する規定は1学期に作成し、現在、運転免許に関する規定を生徒指導部から高等部会へ提起し、順調に検討が進んでいる。
- エ 今年度は高等部1年生の入学者が増え、一般就労希望者も増えた。1学期の早い時期にハローワークの担当者と連携を重ね、5月7月に作業学習の参観と面接を行った。また、具体的な体験希望先を提示して依頼するなど、新しい体験先の確保に努めた。JSTの紹介で他地区の入所しての就労継続A型の事業所を確保することができた。
- (2) 相談や支援の体制を整え、地域のセンター的機能を充実させる。
本校独自の取組として、学校訪問相談を実施した。その結果、就学区域内における本校のセンター的機能に関する理解が進むと同時に、特別支援教育に関する情報の普及、ニーズの顕在化につながった。
- (3) 信頼される学校を目指し、組織マネジメントを確立する。
- ア 29回更新している。また、校外からの間違いの指摘に対して早急に修正した。
- イ 今年度は新たに通学区域内小中学校へのアンケートを実施を計画している。本校へのニーズを把握するための初めての試みである。質問項目について十分検討を要する。
- ウ 各訓練等実施後、アンケート・反省会を行い、挙げた反省事項等を来年度に確実に活かし、より意義のある訓練等になるように、即、実施計画等の内容を見直してきた。6回分計画をし、予定通り実施しているが、回数のみが評価の指標となり、実施したかどうかだけの評価となっている。

2 今後の改善方策

- (1) 特別支援学校教育に関する専門性を確立し、授業の改善・充実により児童生徒の生きる力を育む。
- ア 計画の遅れを取り戻せるように各学部学年の教育企画部員で修正するよう働きかける。
- イ 来年度の年間指導計画を作成する前に、食育に係る年間計画を全職員に提示し、全校でバランスのとれた食育の授業を計画・実施する。回数のみにとらわれた評価でなく、食育に関する授業をした結果、児童生徒がどのように変わっていったかが評価の指標になるよう考えていく。
- ウ 運転免許に関する規定を2学期終了までには全体提案ができるところまで整理し、3学期には、全体確認し、次年度より実施できるようにしたい。
- エ 今後も企業、福祉事業所とも丁寧に連携を行っていく必要がある。
- (2) 相談や支援の体制を整え、地域のセンター的機能を充実させる。
相談や支援を実施した後の状況を把握し、有用性の視点から更なる取組の充実を図る必要がある。
- (3) 信頼される学校を目指し、組織マネジメントを確立する。
- ア 古いデータの有無を定期的にチェックし、外部からの指摘を受けないようにする。
- イ 学校評価アンケート（保護者、通学区域内小中学校）は11月中に実施、回収し、2学期中に結果報告する。全教職員が結果を共通認識し、ニーズを反映した学校教育の充実を努める。
- ウ より意義のある実践的な訓練等を計画、実施するとともに、安全に対する児童生徒の意識がどのように変わっていったのかが評価の指標になるように考えていく。

3 学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策（学校関係者評価実施後に記入する。）

- (1) 特別支援教育に関する専門性を確立し、授業の改善・充実により児童生徒の生きる力を育む。
- ア 責任者を明確にし、具体的な改善策とスケジュールを立てる。
- イ 来年度に向けて、児童生徒の変容や、成果指標を明確にして評価指標（基準）を設定する。
- (2) 相談や支援の体制を整え、地域のセンター的機能を充実させる。
アンケートを実施するにあたっては、条件設定を行ったアンケートを実施する。
- (3) 信頼される学校を目指し、組織マネジメントを確立する。
- ア 保護者や関係機関に学校・学部・学年通信や、進路便り、生徒指導便りなど学校の日々の教育活動の情報を提供する手段を検討する。
- イ 目標設定や、目標達成において、保護者、関係機関との意見交換を行い情報の収集方法を年度末までに検討する。

平成22年度学校関係者評価シート(中間評価)

平成22年10月18日

校番	113	学校名	庄原特別支援学校	校長氏名	刺田 信行	全・定・通	本分
----	-----	-----	----------	------	-------	-------	----

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年同様、自己評価がほとんど「A」になっている。目標の設定が低いのではないか。 ・ 昨年度と同様の計画や内容が盛り込まれている。 ・ 重度・重複の児童生徒に対応する、病院連携や、OT、PT との連携、などの内容が必要。 ・ 多様化する児童生徒の実態にどのように対応するかが必要。
計画の進捗状況の評価の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進捗状況については、3年計画ということもあるが、特に避難訓練など前半に集中している。時期を再考する必要があるのではないか。
目標達成に向けた取組みの適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートを実施することになっているが、情報がなくてアンケートを実施するのは難しいのではないか。 ・ 専門性の向上で研修会を開催しているが、研修を行ってどのような成果が上がっているのかわからない。
評価結果の分析の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校がどのように変わったのか、児童生徒の成長や教職員の専門性の向上などが読み取れない。 ・ 学校からの情報発信がまだ少ないと感じる。学校・学部・学年通信や進路便り等の発行を検討してはどうか。 ・ 進路指導・生徒指導の具体的な取組みが見えてこない。
今後の改善方策の適切さ	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標に対する進捗状況は適切に判断されているが、改善スケジュールや責任者が誰かが明確になっていない。 ・ 全般的に具体的な改善策が示されていない。 ・ 生徒指導に関して、児童生徒がどのように育ってほしいのか、児童生徒の将来像や育てる視点で考えてもらいたい。
総合評価	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境整備など、学校だけで完結できない問題もあり、評価項目や基準を見直す必要がある。 ・ 目標設定、目標達成において、保護者、関係機関との意見交換が必要だと思われる。